

授業科目名	ITリテラシー2B(表計算と情報倫理)		
担当者名	藤田 智子(実務家教員) * 全14回授業を担当		
開講年度学期	2017年度 後期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要	表計算ソフトウェアの実践的な実習を中心に <u>情報活用力</u> を中心に学習する。また、情報倫理についても学習する。		
授業の到達目標 及びテーマ	MOS 一般や上級(対象:Excel 2013 or 2016) に合格できる力を養う。 必要な情報を調べて使うことができるようになる。情報倫理を理解する。		
授業計画	1.	ガイダンス	
	2.	数式と関数・絶対参照・相対参照・複合参照 / いろいろなグラフの作成 到達目標:Excelの基本的な考え方/目的に合わせたグラフの活用	
	3.	外部データの取り込み・クロス集計 到達目標:ピックデータにおけるクロス集計の活用	
	4.	関数1	到達目標:代表的な関数の理解
	5.	関数2	到達目標:統計関数の理解
	6.	関数3	到達目標:ビジネス関数の理解
	7.	関数4 / 情報倫理注意点	到達目標:文字列関数の理解
	8.	複合関数1	到達目標:文字列関数の組み合わせ
	9.	複合関数2	到達目標:論理関数とビジネス関数の組み合わせ
	10.	文字列・日付・時刻関数	到達目標:日付時刻と文字列の違い、日付時刻関数の理解
	11.	総合演習	到達目標:いろいろ関数を自分で考えて利用する
	12.	総合演習	到達目標:いろいろ関数を自分で考えて利用する
	13.	Excel 実技試験	
	14.	コンピュータでできること	
成績評価の方法	実技試験及び課題、倫理試験で総合的にリカレントの評価基準に従い判断する。 ただし上記評価結果が不合格の場合、以下の条件に従い、別途評価基準を設ける。 条件1. 第8回の授業までに MOSを受験し、仮に不合格であっても受験した結果表を提出すること。 条件2. 条件1で不合格であった場合は、第14回の講義終了までに MOS合格の結果表を提出すること。		
使用テキスト	授業時に指示します。		
参考書 (参考資料等)	授業時に紹介します。		
その他 (受講生への要望 など)	実際の業務で使うノウハウは MOSの試験勉強だけではカバーできない事が多いので授業でノウハウを 習得しましょう。また、是非、MOS 上級も受験しましょう。 授業進度は、受講生の理解状況により変更する場合があります。		